

ここ地域福祉通信

Vol.26

伊勢社協

検索



<https://ise-shakyo.jp>

伊勢市福祉生活相談センター ☎21-5712 FAX 21-5555

生活サポートセンターあゆみ(八日市場町13-1)
 (福祉健康センター・1階) ☎63-5224 FAX 27-2412
 地域福祉課 ☎63-5334 FAX 27-2415
 中部支所(八日市場町13-1) ☎27-2425 FAX 27-2412
 東部支所(二見町茶屋456-2) ☎43-5551 FAX 43-4427
 西部支所(小俣町元町536) ☎27-0509 FAX 27-0570
 北部支所(御園町長屋2767) ☎22-6617 FAX 22-6604
 伊勢市ボランティアセンター・げんこころ一む(小本町曾祢538)
 (イオンタウン伊勢ララパーク・2階) ☎63-6370 FAX 65-6121

伊勢市社会福祉協議会

「企業のチカラ」地域で生かしませんか？

伊勢市ボランティアセンター
地域貢献企業・事業所を募集

伊勢市と伊勢市社会福祉協議会では、地域と企業が支え合い助け合い、人と人とのつながりを大切にしたいと安心して暮らせる地域づくりを進めています。

近年、ボランティアセンターには、企業からの地域貢献活動に関する相談が数多く寄せられており、地域課題の解決に向けた地域と企業のスムーズな連携を進めるために、平成29年度から「地域貢献企業登録」を開始しました。登録いただいた企業・事業所は **49 社** となり、「福祉出前トーク」や「ふくしなんでも相談」などの社会福祉協議会の事業、赤い羽根募金百貨店プロジェクト、地域活動への協力や災害支援など、自社の強みを生かした「福祉のまちづくり」にご協力いただいています。

地域貢献活動に興味がある、または、すでに活動をされている企業・事業所の皆さん、この機会にボランティアセンターに登録しませんか？

企業だからできること、地域だからできること、地域と企業が連携した「福祉のまちづくり」を一緒に進めましょう。

★ 地域貢献企業の地域活動 ★

企業の災害備蓄品の提供



自社の備蓄品の入れ替えによる賞味期限内の備蓄品を、地域の防災訓練や、生活が苦しい皆さんへの食糧支援のために提供して、地域の皆さんなどに喜ばれています。

環境活動への参加



朝熊山麓公園で開催された「花ももの植樹活動」に社員とその家族が参加し、花があふれるまちづくりに協力しています。

福祉団体への寄付



お客さまからの寄付でいただいたお菓子を福祉団体へ定期的に寄贈して、皆さんから、ありがとうの声をいただいています。

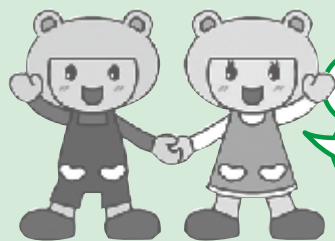
問 伊勢市ボランティアセンター・げんこころ一む [イオンタウン伊勢ララパーク・2階] (☎63-6370 FAX 65-6121)

日々感じている
ことや、思いを共有
することで、息抜き
ができる場です。

対 参加者同士の交流
 定 15人
 申・問 5月17日(月)までに、直接または電話・ファクス・Eメールで、生活サポートセンターあゆみ(八日市場町13-1) ☎63-5224 FAX 27-2412
 ✉ ise-cswsp@mie.email.ne.jp

所 福祉健康センター1階
 時 5月24日(月)
 13時30分～15時
 日常生活訓練室(洋室)
 (八日市場町13-1)

ひきこもり家族の交流会



「げんここ地域福祉通信」は、地域福祉情報をお伝えするコーナーです。

社協は**げん**きな
こころ応援します

げん

げんきくん こころちゃん
●伊勢社協マスコットキャラクター

時とき 所ところ 対対象 内内容 定定員 申申し込み 問問い合わせ

皆さまからの募金は地域福祉活動に活用いたします

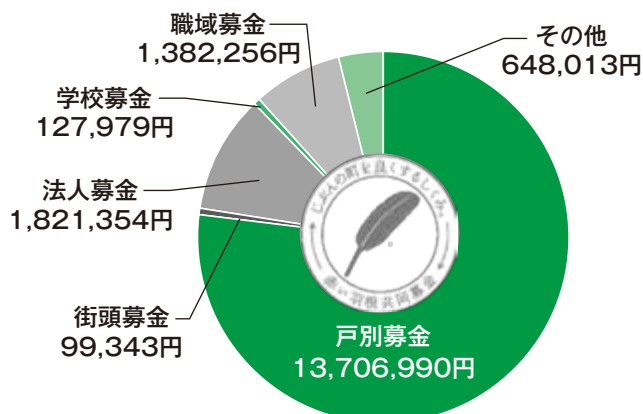
令和2年度 赤い羽根共同募金にご協力ありがとうございました。

「じぶんの町を良くするしくみ」をテーマに、10月1日～3月31日に、「赤い羽根共同募金運動」を実施しました。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、街頭募金や学校募金の縮小などもありましたが、皆さまから多大な募金のご協力をいただきました。その中でも、戸別募金は、募金額の約77%を占めており、自治会（区）をはじめ、1世帯1世帯の皆さまから寄せられました。コロナ禍の大変な状況の中にも関わらず、本当にありがとうございました。

募金の約80%は、市内の地域福祉活動への助成や、福祉映画の上映などに使います。また、残りの20%は、県内の福祉事業や災害等準備金として活用します。

皇學館大学
ボランティアルームの学生と一緒に企画し、
共同募金をPR

募金総額 17,785,935円



「げんこころ一む」に来所した皆さまに参加していただき、すてきなシールアートが完成!!

赤い羽根共同募金配分金の助成事業は、次の地域福祉活動になります。

- ◇こども会などの行事助成
- ◇地域見守り活動助成
- ◇福祉団体活動助成
- ◇児童公園遊具などの整備助成
- ◇福祉施設活動助成
- ◇宅老所事業助成

令和2年度の赤い羽根共同募金は、計画募金であることから、令和3年度の福祉活動に使わせていただきます。

右記の活動などにお役立ていただくために、助成金申請を受け付けています。なお、コロナ禍での活動内容のご相談にも対応させていただきます。



日本赤十字社

人間を救うのは、人間だ。

赤十字活動資金にご協力をお願いします

新型コロナウイルス感染症の発生初期から、医療チームの派遣・予防啓発などに全力を尽くしています。

日本赤十字社では国内外を問わず、災害の発生時には迅速に救護班を派遣し、被災者の救護や支援を行っています。そのためには、日頃から被災者や傷病者を救護できるよう救護要員の育成指導を行うとともに、救護用資機材の整備や被災者に配備するための毛布・救援セットなどの備蓄にも力を注いでいます。このような事業は皆さまからご協力いただく赤十字活動資金で行われています。本年も赤十字活動へご支援をよろしく願っています。